

## 大槌発

### 学生たちが球根植栽



地元・岩手県立大学とアメリカ・オハイオ大学の学生や教職員77名が、津波で大きな被害を受けた大槌町の河川敷で復興支援のボランティア活動を行いました。

学生たちは復興支援活動を通じて、被災地の現状や課題を学ぼうと被災地を訪れました。大槌町を流れる小槌川で、震災当初はガレキで埋め尽くされた河川敷に美しい景観を取り戻すための球根の植栽作業を行いました。参加した学生たちは慣れないスコップ作業に少し苦労しながらも、ひとつひとつ丁寧に球根を植え付けていました。(9/26 ニュースエコー)



## 久慈発

### 「もぐらんぴあ」再建

津波で大きな被害を受けた、久慈市の地下水族科学館「もぐらんぴあ」の再建工事が始まりました。日本初の地下水族館「もぐらんぴあ」は、1994年4月のオープン以来、のべ130万人以上が来場する人気施設でしたが、震災の津波で建物は全壊、200種・3000匹に及ぶ展示生物は、ほとんど死滅しました。震災の年の7月、久慈駅前、「まちなか水族館」の形で、再スタートをしましたが、多くの市民や観光客が元の場所での再開を待ち望んでいました。新しい「もぐらんぴあ」は、総事業費約13億6000万円をかけ再建するもので、「大型の水槽」を新たに設け、アイナメ・ドンコ・ウニなど久慈・近海の生き物の生態を再現します。又、新設される管理棟は5階建てで、津波避難タワーの役割も兼ね備えます。「もぐらんぴあ」は来年秋にオープンする予定です。



(9/26 ニュースエコー)

## 大船渡発

### 「復興の現場」見学会



災害公営住宅の建設現場など、目に見える復興の姿を地域の人たちに見てもらおうと大船渡で「復興の現場見学会」が行われました。県の沿岸広域振興局などが開催した見学会には大船渡市内から17人が参加し、三陸町で整備が進む鉄筋コンクリート造りの3階建て災害公営住宅や港・岩崎地区で造成が進められている防災集団移転促進事業の現場を訪れました。災害公営住宅では中に入って間取りなどを見学、また防災集団移転促進事業が進んでいる現場では、この地域での事業化決定に至った経緯などの説明を受けていました。(9/30 ニュースエコー)



## 宮古発

### 写 さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、10月4日・5日に宮古市民総合体育館で行われる宮古市大産業まつりについて伝えてくれました。地場産品の販売はもちろん、姉妹都市や友好都市の特産品販売なども行われます。目玉イベントは、宮古で水揚げされた水産物で作る「Sea 級グルメコンテスト」です。1食300円から500円で販売され、来場者の投票と審査員による審査で決まります。鮭入り揚げピッツァや、みやこ海鮮まんなど宮古自慢の海産物がふんだんに使われた料理です。多くの皆さんに宮古市大産業まつりにお越しいただき、「Sea 級グルメ」を食べて投票をと話していました。(10/1)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中

詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122